

教科横断型授業「国語」×「商業」 学習指導案

SDGsでの課題	SDGsの番号(4番)「質の高い教育をみんなに」			
実社会での課題	現代社会において決済の多様化やキャッシュレス化が進んでいる。民法改正による成人年齢の引き下げを受けて、クレジットカードの契約が高校生の年齢でも可能になった。その仕組みを理解せずに利用すると、後々支払いが困難になり、多重債務に陥ってしまうリスクもある。			
生徒に身に付けさせたい資質・能力	決済の多様化やキャッシュレス化の進む現代において、生徒たち自身が経済的に自立し人生設計を考えるために必要な知識として、クレジットカードなどの仕組みを学ばせたい。			
主題(教材)	問題の内容と結び付けて事例の内容を読み取る。(論理国語「ホンモノのおカネの作り方」)			
指 導 入 展 開 程 整 理 備 考	学 習 活 動	時 間	指 導 上 の 留 意 事 項	資 料 等
	○本文の内容を確認する。	5	○前時の学習内容を確認させる。	
	1 ホンモノのおカネについて確認し、現代で考えられる、ホンモノのおカネの代わりとは何か考える。	10	○現代社会における本物のお金について確認させる。 ○現在、お金の代わりとして通用しているものをできるだけたくさん考えさせる。	教科書 学習プリント パワーポイント
	2 キャッシュカードやクレジットカードなどの仕組みについて、商業科目で習った内容と照らし合わせながら考える。	20	○商業科目での既習内容が実際に社会の中で生きていることに気づかせる。 ○クレジットカードなどの仕組みなど必要な知識を身に付けさせる。	
	3 ホンモノのおカネの本質について考える。	10	○おカネの本質は、実体的な価値にあるのではなく、社会的保証のもとに価値のあるものとして機能していることに気付かせる。	
○ 学習内容を確認する。 ○ 次時の課題を確認する。	5	○ 学習内容を理解できたか確認させる。		
備考				

教科横断型授業「英語」×「化学」 学習指導案（例）

SDGsでの課題	SDGsの番号(13番)「気候変動に具体的な対策を」				
実社会での課題	深刻化する温暖化を抑止するためには、①温室効果ガス排出削減、②エネルギー消費の削減、③代替エネルギーの開発と利用、④ライフスタイルの見直しなど様々な取り組みが必要とされる。地球が置かれている現状を把握し、具体的にどのように取り組んでいくかが課題である。				
生徒に身に付けさせたい資質・能力	温室効果ガス削減に向けて、世界でどのような取り組みがなされているか、何が課題であるかを考えるとともに、持続可能な社会を実現するために必要なこと、自分たちができることについて考えさせる。				
主題（教材）	メタンガス排出削減に向けての取り組みについて考えよう。				
指導過程	導入	温室効果ガス削減に向けて、世界の取り組みについて理解する。	7	○ COP26の英語ニュースを視聴し、温室効果ガス削減に向けた合意内容と、残された課題について理解させる。	○電子黒板 ○NHK WORLD NEWS
	展開	1 メタンガスが温暖化に及ぼす影響について理解する。	7	○ 資料やグラフを用いて、メタンガスが二酸化炭素より温暖化に何倍も深刻な影響を及ぼすことを理解させる。	○電子黒板 (資料1)
		2 メタンガス排出削減に向けて、教科書(英文)に紹介されている取り組みについて理解する。	10	○ 家畜から排出されるメタンガスを削減するために、紅藻を飼料にする取り組みの効果と課題について理解させる。	○教科書(英文) ○ワークシート (資料2)
		3 メタンガス排出削減に向けて、本文に述べられていること以外に考えられる方法を話し合う。	10	○ 技術的側面だけでなく、多角的に考えさせる。また、それぞれのメリット・デメリットを捉えさせる。	○生徒用端末
	開	4 各グループが話し合った内容を共有する。	4	○ 各グループから出てきた考えを参考にさせる。	○生徒用端末
		5 40語程度の英語で、自分の考えをまとめ、ロイロノートで提出させる。	10	○ 授業の内容、各グループから出たアイデアを参考に、自分の考えを英語で論理的に表現させる。	○生徒用端末 ロイロノートで提出 (資料3)
	整理	○ 学習内容を確認する。 ○ 次の課題を確認する。	2	○ 学習内容を理解できたか確認させる。	
備考					